



後輪に装着されたワイドシングルタイヤ「X One」

TB タイヤのソリューション

日本ミシュランとタカラ物流

日本ミシュランタイヤは、同社のトラック・バス用ワイドシングルタイヤ「MICHELIN X One (ミシュランエックスワン)」を導入した大手トラックユーザー、タカラ物流システム(本社:京都府宇治市 上坂良秋社長)との合間でプレスセミナーを開催した。セミナーでは車両軽量化を実現するためのトラックタイヤの2本を一本にするという新たなソリューション「X One」のコンセプトの紹介、タカラ物流システムの「X One」採用による車両重量軽減など、輸送効率向上の具体的な成果について説明が行なわれた。(編集部)

新15ト車導入で輸送効率を向上

プレスセミナーは、千葉県松戸市にあるタカラ物流システムの東日本支社で行われた。セミナー開始にあたって、タカラ物流システムの中川謙一副社長が同社が導入した新15トン積載大型トラックによる輸送効率向上への取り組みを紹介した。同社では、新15トン

車(いすゞ「ギガ」)の導入によって、従来の13・5トン車に比べて積載量を10%アップした他、軽量化など様々な工夫に取り組んだことで、年間1台当たり10万円の輸送効率の改善を実現した。現在このうちの1台にミシュランのシングルタイヤ「X One」を採用しているが、安全性が高く利益貢献にも繋がっていると説明した。



タカラ物流・中川副社長

続いて、日本ミシュランタイヤ・トラックバス事業部の高橋敏明執行役員が、「2012年から日本で本格的に「X One」のプロモーション活動を展開している。安全装備などで車両自体がどんどん重くなっていく中で、究極の物流の効率化を目指しているタカラ物流さんに今回「X One」を採用して頂いた。それも最もポピュラーなトラック(2リ4)に装着してもらったことで、他にも引き合いが多く寄せられている。」と挨拶した。



日本M・高橋執行役員

また、低燃費化にも効果を発揮する。車両におけるエネルギーロス(35%)を占めるが、2本を一本にすることでエネルギーロスを低減、アメリカエネルギー省のデータでは長距離走行の場合、トラック&トレーラーをすべてシングルにするだけで9・2%の燃費改善が図れるとしている。さらに、複輪からシングルにするだけで、足回り周辺の積載スペースの効率化が図れることや、メンテナンスの手間が2分の1になることで、作業効率が向上する。とも大きなメリットとされている。

シングル「X One」で合同セミナー開催

セミナーでは、日本ミシュランタイヤ・トラックバス事業部のステファン・ラム、黒瀬裕司両氏による「ミシュランX Oneの紹介」が行われ、CO₂排出量削減などの環境問題や、安全装備など

カラ物流さんに今回「X One」を採用して頂いた。それも最もポピュラーなトラック(2リ4)に装着してもらったことで、他にも引き合いが多く寄せられている。」と挨拶した。



輸送効率向上をめざして導入した15ト車



大人と子供?...シングル(右=455/55R22.5)とダブルのノーマルタイヤ(11R22.5)

一般的な複輪タイヤ(11R22.5)2本分の重量がホイールを含めて傾斜のに対してシングルタイヤは2倍で、**軸あたり傾斜の軽量化が図れ**、その分貨物の積載量を増やせる。

また、低燃費化にも効果を発揮する。車両におけるエネルギーロス(35%)を占めるが、2本を一本にすることでエネルギーロスを低減、アメリカエネルギー省のデータでは長距離走行の場合、トラック&トレーラーをすべてシングルにするだけで9・2%の燃費改善が図れるとしている。さらに、複輪からシングルにするだけで、足回り周辺の積載スペースの効率化が図れることや、メンテナンスの手間が2分の1になることで、作業効率が向上する。とも大きなメリットとされている。

また、ワイドタイヤであるため、検視ハンマーでは判りづらいという乗務員の心配には、X One装着車に「TPMS(空気圧監視装置)」を装着することで対応すること

また、始業点検の手間や装着の手間が半分、冬用タイヤへの交換も簡単など省メンテナンス効果も大きい。2014年にはタンク車にも装着を検討。さらに大型全車の「X One」化を目指したいと、その手応えを語った。

また、ワイドタイヤであるため、検視ハンマーでは判りづらいという乗務員の心配には、X One装着車に「TPMS(空気圧監視装置)」を装着することで対応すること

また、始業点検の手間や装着の手間が半分、冬用タイヤへの交換も簡単など省メンテナンス効果も大きい。2014年にはタンク車にも装着を検討。さらに大型全車の「X One」化を目指したいと、その手応えを語った。

また、始業点検の手間や装着の手間が半分、冬用タイヤへの交換も簡単など省メンテナンス効果も大きい。2014年にはタンク車にも装着を検討。さらに大型全車の「X One」化を目指したいと、その手応えを語った。

また、始業点検の手間や装着の手間が半分、冬用タイヤへの交換も簡単など省メンテナンス効果も大きい。2014年にはタンク車にも装着を検討。さらに大型全車の「X One」化を目指したいと、その手応えを語った。